

討論

今定例会最終日に、次のような討論が行われました。

請願第2号

賛成

【日本共産党】

政府は集団的自衛権の行使容認を含む憲法解釈の変更を閣議決定し、安保法を強行採決した。PKOの自衛隊に駆け付け警護が付与され海外で武器を使う可能性が生まれた。防衛費が5兆円を超え武器輸出三原則が撤廃されるなど海外で戦争ができる準備が進んでいる。米国との軍事同盟を強調する安倍首相が憲法に自衛隊を加える改憲案を発表した。戦力不保持と交戦権の否認が無効化される。安保法を強行した首相が憲法改正を主導するのは立憲主義を否定する行為。9条は世界でも信頼されている。かけがえ

のない憲法を次世代に手渡すことが私たちの責務。

議案第88号

反対

【日本共産党】

施設廃止が前提の1年指定のため反対である。

1点目の指摘は、高齢者福祉の切り捨てである。東後楽会館は、高齢者の憩いの場や元気に過ごすための施設として利用されており、高齢化社会でまさにこれから必要である。弱い者いじめで高齢者の生きがいを奪うもので許せない。

2点目は、市民の要望や想いに対しての市の意思決定の問題である。庁内で検討され、利用者への相談や通知もなく突然に廃止を決めた。検討過程で市民の声を聞くという姿勢はなく、行政の一方的な施策である。改修や耐震補強など、必要な整備をするべきである。

決議第4号

賛成

【無所属】

「台風第21号災害の復旧を求める決議」で全議員が市長の危機管理意識の甘さが明らかになったと可決した。また質疑で

台風接近中、選挙事務所で万歳をした後自宅テレビを見て仮眠していたことに不適切とは思わなると答弁した。100件の水害被害を大したこととは思わず現地にも行かず議会に反省も謝罪もない。今後このような災害対応について分からない、状況次第とは無責任だ。市長は責任を取るべきだ。



台風被害のお見舞い

台風第21号により被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。また復旧にあたってご尽力されている皆さまに対し、心よりお礼申し上げます。市議会といたしましても、市の復旧支援策を注視し、協力してまいります。被害にあわれた方々が1日も早く以前の生活を取り戻せるよう、心よりお祈り申し上げます。

川越市議会

台風第21号災害の復旧を求める決議

平成29年10月22日から23日にかけて本市を襲った台風第21号の大雨により、市内各所で甚大な被害が発生した。

とりわけ、寺尾地区をはじめ市内各所で内水により床上浸水246世帯、床下浸水234世帯、また本市に隣接するふじみ野市を含めると821世帯が浸水した。

本市議会における質疑の中で、災害発生からこれまでの間、市がとった対応の遅れや市長の危機管理意識の甘さが明らかになった。

市民の生命および財産を災害から守る立場である市長に対し、同じことを繰り返さないよう反省を求めるものである。

また、各種復旧支援策について、国県等関係機関に要望するとともに全力を挙げて、被災された全ての市民が1日でも早く以前の生活を取り戻せるよう復旧に取り組むことを強く要請する。

右、決議する。

平成29年12月22日

川越市議会